

令和4年度 学校評価 自己評価書

1 学校の重点課題

- (1) 豊かな心の育成 「お互いを認め合い、思いやりのある子供」
 (2) 学力の向上 「進んで学び、豊かに表現できる子供」
 (3) 気力、体力の強化 「健康で、ねばり強い子供」

【一学校一改革】

読書を核とした情操教育と学力向上
 ～学年相応の読書の勧め～
 (お勧めの本の活用)

2 課題と改善策

	評価項目	評価(各学期)			課題への対応
		1	2	3	
豊かな心の育成	1 共に学び、支え合う学級づくりの推進	3.1	3.4	3.3	7や8など、指導をしていないことはないが、意識して取り組んでいない。自己の実践とそれに伴う変容を体感できるような取組にしていける必要がある。
	2 読書指導を通して、感性を育てる教育活動の充実	3.1	3	3.3	
	3 音楽の指導を通して、感性を育てる教育活動の充実	2.6	3.2	2.8	
	4 植栽活動を通して、感性を育てる教育活動の充実	2.6	2.2	2.2	
	5 ボランティア精神を培う特別活動の工夫と充実	2.8	2.8	2.6	
	6 あいさつを通して、規範意識の確立と実践	3.2	3.2	3	
	7 無言清掃を通して、規範意識の確立と実践	2.6	2.9	2.9	
	8 くつのかかとを揃える、整理整頓等、規範意識の確立と実践	2.9	2.9	2.9	
	9 学校行事等を通じた生きる力を培う体験活動の推進	2.8	3.6	3.1	
	10 キャリアパスポートを活用した夢実現に向けたキャリア教育の推進	2.3	2.5	2.7	
	11 児童の実態把握と教育相談を通じた家庭と連携、個々の課題への対応	3	3.4	3.4	
	12 人権感覚を磨く環境づくり(設営・言葉)	2.9	2.8	3.1	
	13 いじめや不登校対策・校内外の問題に対する全職員の共通理解	3.3	3.5	3.6	
確かな学力の育成	14 共通実践事項であるめあての聴写やまとめの時間の確保	2.7	3.1	3.5	重点的に取り組む事項を決め、目的意識をもった指導を継続する。
	15 学力検査の結果分析によるきめ細やかな実態把握、個別指導の充実	2.4	3	3.2	
	16 チャレンジタイムやのびのび国語・算数を通じた、基礎・基本の定着	2.6	3.1	2.8	
	17 学びの羅針盤を基にした主体的・対話的で深い学びによる授業の実践	2.1	2.6	2.5	
	18 家庭学習強調週間等を通じた家庭との連携による主体的に学ぶ家庭学習の工夫	2.8	3.2	3	
	19 学習支援ボランティアやICT機器を活用した児童の学習意欲の向上	2.5	2.9	3.5	
	20 児童朝会や集会活動での児童の発表力・表現力の伸長	2.7	3.1	3.5	
	21 校種間連携(小中、幼保小)の充実と確かな共通実践	2.5	3	2.9	
	22 各個人の実践を生かした授業力向上	2.7	3	2.8	
気力・体力の強化	23 さわやかタイムを通じた健康意識を育む指導の推進	3.1	3.5	3.6	明確な活動が多いことが評価のしやすさに繋がっている。
	24 健康づくりに関する指導の充実	2.8	3	3.1	
	25 治療促進やブラッシング指導を通じた歯と口の健康づくりについての指導の推進	2.9	3.2	3.4	
	26 なわとびやランニング、チャレンジかごしま等で体力づくりの推進	2.2	3.5	3.4	
	27 栄養教諭や外部講師を活用した食に関する指導の工夫	2.3	3.6	3.3	
	28 防犯教室、引渡し訓練、避難訓練等を通じた安全意識の高揚	3.4	3.6	3.3	
全般	29 校務分掌における報告・連絡・相談、組織的・効果的な機能	3	3.1	3.3	本年度の反省を確実に次年度へ引き継ぐ。
	30 学校行事の綿密な計画、適切な実施、次年度への引き継ぎ	3	3.5	3.1	
	31 職員朝会・各種委員会・職員会議等の充実	2.9	3.4	3.1	
	32 服務規律の遵守	3.6	4	3.7	
	33 合理的配慮の必要性の理解、一人一人が個性を生かすことのできる支援・指導の推進	3	3.4	3.1	
	34 個別の支援計画立案、計画的・継続的な入級指導の実施	3.1	3.5	3	
	35 学校支援ボランティア等を活用した教育活動の工夫	3.1	3	3	
	36 授業参観や県民週間等を通じた開かれた学校づくり及び教育活動の工夫	3.2	3.2	3.3	
	37 学校と家庭で協力・連携したPTA全体の運営や各専門部委員会の活動の充実	2.7	2.9	3.3	
	38 業務改善の意識的な取り組み	2.5	2.9	3.1	

3 次年度に向けての取組

- 定期的に反省する機会を設ける(PDCAサイクルの「C」の強化)